

リリースノート(Ver.14/05/15)
地震・火山・震動計測デジタイザ(LS-7000XT)

LS-7000XT ファームウェア Ver.14/05/15 では、下記に列挙した追加・修正事項があります。

■ 対象

2014年5月28日以前に出荷された機体で、2007年5月の改修が施され本体正面左上に青い丸印がついている機体です。

※2007年5月の改修については下記 URL よりご確認ください。

URL: <http://www.hakusan.co.jp/download/keisoku/update/ls7000xt.shtml>

■ 概要

－修正内容－

- ・ファームウェア Ver. 13/08/27 において、データ受信装置からの再送要求に応答しない現象の修正をしております。

■ ファームバージョン

- LS70ANTI.MOT (アンチエイリアス版) Ver.14/05/15
- LS70CAL.MOT (オフセットキャンセル版) Ver.14/05/15

－修正内容の詳細－

[現象の特長]

ファームウェア Ver. 130827 の再送要求に応答しない

(LAN 接続)

- ・ch1 の WIN アドレスを『0000』以外に設定し、A0 パケットを使用してテレメートしている時に、サーバからの再送要求に応答しません。
- ・A1 パケットの場合は Win アドレスに関係なく再送要求に応答します。
- ・A0 パケットでも『0000』の場合は再送要求に応答します。
- ・Ver130827 のアンチエイリアス版、オフセットキャンセル版において現象が確認されております。
- ・旧 Ver091001 では、現象は発生しておりません。

(シリアルポート接続)

- ・RT-Output の Device=COM2 設定、PktType=A0 設定のとき、LS-7000XT が再送要求に応答しません。Device=WIN_UDP 設定または PktType=A1 設定の場合は再送要求に答えます。
- ・Ver130827 のアンチエイリアス版、オフセットキャンセル版において現象が確認されております。
- ・旧 Ver091001 では、現象は発生しておりません。

[修正内容]

(LAN接続)

受信した再送要求の応答パケット生成時に ch1 のアドレスが『0000』固定に設定されていたため、設定された ch1 アドレスになるように修正されております。

(シリアルポート接続)

A0 パケットの再送要求パケットが認識されていなかったため、認識されるように修正されております。

以上